

（１）今後の事業計画について

▶令和７年度

【展示】

総合テーマを「多様な人・もの・文化の交流により誕生した“開かれたムラ”」とする基本展示と、村の歴史や自然を様々なテーマで展示する企画展示で構成。

（１）基本展示①（展示室１）

壁のない明るくオープンな空間で、「水辺のムラ東海村の風土」という小さな東海村を再現したエリアと体験・体感エリアから成り、村の自然環境とそ中でつくられた風土を楽しく学ぶことができる。季節やテーマに合わせ、年４回の展示替えを行うとともに関連ワークショップやミニイベントを行う「まる博マルシェ」も開催。人の歴史は自然環境と密接につながっていることを村の自然の特徴と歴史から学ぶ。

年度	時期	事業名	内容
7	春期（3-5月）	虫こぶ-奇妙で不思議な秘密のかくれが-	東海村内でよく見られる虫こぶを紹介。
	夏期～冬季（7-1月）	タイムトラベル展	東海村発足70周年を記念して村の歴史と自然をタイムトラベル風に展示。
	秋期（11月）	東海村てつどう大作戦2025	1/1村松軌道機関車模型を展示。
	春期（3-6月）	山桜・桜	村内で見られる桜に関する展示。
8			

（２）基本展示②（展示室２）

『人々が紡ぐ東海村の物語～人・もの・文化の交流と開かれたムラ』という題の一冊の本に見立てて、縄文時代から近現代までを実物資料を中心に6つの章で構成した展示としている。一部はトピックス展として年２回ほど展示替えを行う。「交流」をキーワードに、物語仕立てで村の歴史の特徴を展示することで、より深い興味をもって展示品を鑑賞し、それぞれが村の歴史を考えるきっかけとなることを意図している。

	時期	内容
通年	第1章 照沼のとある青年の物語	縄文時代に水辺に誕生したムラ（堀米A遺跡）から出土した糸魚川産の翡翠や異なる地域の特徴を合わせ持つ土器等から、他地域との交流を描く。
	第2章 水辺の王の物語	太平洋の入り江に面する古墳の副葬品に遠く離れた地で生産されたものや海洋民を示すものがあることから、被葬者の海を介した交流について描く。
	第3章 砂と塩の物語	海岸沿いの製塩遺跡から出土した考古資料や人骨のDNA分析結果を基に、様々な地域の人々が出入りする海辺のムラの姿を描く。
	第4章 旅人の物語	水辺が作り出した聖地・景勝地である村松地区が、人々の往来によって発展していく様子を描く。
	第5章 村人の物語	当時の村の人々の暮らしがみえるような資料を展示。
	第6章 開かれたムラの物語	東海村に日本で初めて設置された国立結核療養所・村松晴嵐荘と日本原子力研究所。それを契機に全国から集まった村の新住民と旧住民の交流、文化の創造を描く。
随時	トピックス展	歴史（考古）系のテーマ展示（R7.4～5） 自然系テーマ展示（R7.10～11）

(3) 企画展示

基本展示だけでは伝えきれない村の歴史や自然を様々なテーマで 企画展示室で 展示。

年度	時期	事業名	内容
7	春期（3月-6月）	東海村70枚の写真展-変わるモノ・変わらないモノ	東海村の時代の移り変わりを写真の収集も兼ねて展示。
	夏期（7-9月）	タイムトラベル展	展示室1に連動した展示。
	冬期（11月-1月）	根本陸夫展	西武、ダイエーでチームづくりの責任者を駆使して後に訪れる黄金時代を築いた東海村ゆかりの人物にスポットを充てた展示。
	春期（3-5月）	学芸員テーマ展	当館所属学芸員全員によるテーマ展。
8			

【教育普及】

(1) とうかいまるごと博物館

38 km²というコンパクトな面積の中に城跡や古墳、海や川など多くの歴史や自然を語るものが存在する東海村の特徴を活かし、村内全域を博物館として捉え、東海村全体をまるごと体験し・遊び・学ぶことで、郷土への理解を促進し、郷土愛を醸成する。
 ○村内住民活動団体や企業などの様々な主体と連携し、講座やフィールドワーク、体験などのプログラムを提供。
 ○東海村を研究する「東海村歴史と未来の交流館研究員（通称：まる博研究員）」の養成（人材育成）。村内在住・在勤の高校生以上から募集し、養成講座・専門講座を実施。

令和7年度

■講座等(講座・フィールドワーク・展示・イベント)

種別	内容
交流館主催講座等	講演会、館長講座、まる博講座（石神城、古墳他）、展示、展示解説、バックヤードツアー、フィールドワーク、マルシェ（体験）他
協力団体主催講座等	（協力団体） 原子力科学館、J-PARCセンター、日本原子力発電（株）、東海村の環境調べ隊、東海村自然倶楽部 ほか （実施事業） ハローサイエンス、探鳥会、天体観測会 ほか
行政主催講座 （生涯学習課を除く）	すこやかウォーキング

■東海村歴史と未来の交流館養成講座（まる博研究員）

○定例会 第4期養成講座 概ね月1回開催（秋ごろ開始）

○専門講座 「東海村の古文書調査隊」

※現時点での予定

(2) 学校連携事業（ジョイント授業）

学習指導要領における学習のねらいを踏まえて、総合学習や社会科の授業において、ふるさとの歴史や地域資源、環境に興味・関心を深められるよう、展示・収蔵品や体験事業を活用した学習プランや学習教材を提供し、村内小中学校の教育活動との連携を図っている。

年度	時期	学校	内容
7	学校要望により調整	全小中学校	前年度内容を参考にしながら、学校の意向を加味して実施。村内全校の利用を目指し、利用しやすいしくみを検討する。

※現時点での予定

(3) とうかい子どもキャンパス事業

村内在住の小中学生を対象に、科学実験や工作、野外活動やスポーツなど、幅広い分野でふるさとの資源について学び、地域資源の再発見や村への誇り、郷土愛の醸成への取り組みを行っている。また、様々な体験活動を通して、自らの可能性や興味関心を高める取り組みも実施している。第1期（6・7月）第2期（10～11月）第3期（12～1月）第4期（2～3月）に分けて募集をしたうえで開催。

年度	時期	講座数	事業名
7	第1～4期	約30	のぶちゃん先生の理科教室、親子ホッケー教室、70周年事業東海版ふるぶ出版体験プログラムなど ※応募状況から継続講座を判断しつつ、新たな分野の開拓や異年齢の人材育成を積極的に展開

【交流事業・施設活用】

(1) にぎわいづくり事業

村民団体や民間事業者等の様々な主体と連携し、人と人、人とモノの交流や、にぎわいの創出を生む事業を行っている。

年度	時期	事業名	内容
7	9月	第42回東海やったん祭	青少年団体・青少年育成団体のにぎわいの場として実施。
	2月	D A Y キャンプ	青少年育成東海村民会議主催事業。ふるさと体験教室でのかまどを活用した飯ごう炊飯や屋外広場を活用した行事。

(2) 交流事業

施設のテーマである「歴史」・「未来」・「交流」を基に、多世代の交流の展開や多様な主体の参画による運営を目的に、公益性の高い事業を団体と連携して実施している。

年度	時期	事業名	内容
7	5月	こいのぼりチャレンジ2025	村内新1年生に作成を依頼したこいのぼり作品を交流館交流スペース頭上に展示し、自己有用感の向上や交流館来館のきっかけとする。
	9月	県科学研究作品展・発明工夫那珂郡作品展示	夏季休業中に作成した作品の展示
	9月	国際平和ポスター展示	東海ライオンズクラブ主催。夏期休暇中に作成したポスターの展示
	未定	ミニコンサート	東海村吹奏楽団によるミニコンサート